臺灣の耕牛は如何にして改良するか

農復會牧畜組組長ハンター氏 J. A. Hunter

全臺灣には約四十萬の牛があるが、その中の八割は水牛で、黃牛が一・六割、雜種牛が〇・二割、その外に極めて少數の乳牛と印度牛（黃牛と交配して雜種牛をつくる）とがある。然しこれ丈では臺灣の耕地面積と農家の戶數から見て耕牛に不足で、事實農家でも耕牛を所有して無いものが多い。然しもつと困つた事には近ごろ耕牛の品種が非常に劣つて來た事である。殊に水牛は、時たま臺中や嘉義でこれは立派な水牛だと思ふ樣なのを見かける外は、全省的に見て非常に質が劣つて來たと云へよう。

では如何にしたら優良な牛を全省に繁殖させる事が出來ようか。一般に家畜の品種改良を大規模に行ふ事は容易でないが、次の二つの方法を實行すれば本省に於ける耕牛の質も良くなると思ふ。

一、劣等な牛の種を繁殖させない事

牝牛に對しては斷種が困難であるが、牡牛は簡單に去勢できるので斷種が容易である。その上に去勢された牡牛は性質が從順で肥え方も早く、去勢されてゐない牡牛の樣に時々暴れて近所に迷惑を及ぼす事がない。劣種な牝牛の斷種は實行が困難で、現在のところではなるべく優良な牡牛と交配させて良い子牛を產ませるより外に方法が無い。

二、優良な牛の種を繁殖させる事

もし全省の劣等な牛の繁殖を完全に防止できて、牝牛が優良牡牛とのみ交配できれば、臺灣に於ける耕牛の品種改良は短期間に實現できると思ふ。上述の樣な點から農林廳でも全省一萬頭の劣種牡牛の去勢を目標として實行してゐるが、これは非常に有效な對策である。臺灣では一般に、優良な牡牛は牛飼に慣れた大人が連れ出す以外は外に出る機會が無いのに反して、普通の耕牛は農家の子供が外に連れ出して道端や空地で草を食はせるから自然に雜交する樣になる。故に劣等な牡牛を去勢して雜交を防げば結果としてあらゆる牝牛が優良種の牡牛と交配する樣になり、良い牛だけが繁殖する事になる。

然し農林廳のこの計劃は一年間で實現できるものでなく毎年辛抱强く牡牛の去勢を續けなければならない。農家でもなるべく自分の牝牛を近所にある優良な牡牛と交配させる樣に努め、それでは牝牛を道端などで飼つてゐる時に劣種な牡牛と雜交させない樣に出來るだけ注意する事が必要である。

農林廳のこの計劃をもつと效果的にする爲には、鄉鎭農會の責任者がその附近の優良種牡牛を選んで、これを表にして農會の前にでも貼つておけば、牝牛を飼つてゐる農家にとつては非常に便利であると思ふ。

この樣にして牛を飼つてゐる農家が、農林廳と協力して劣種牡牛の去勢に努め、また一方農會と共に優良種牡牛の選擇をして、自分の牝牛をこれと交配させれば、臺灣の耕牛改良の計劃は早期に完成できるものと思ふ。

採種田の農家に注意

一、不純な稻を取り除く事

稻の收穫前に田の中を調べて見ると、丈の高さや形の變つた稻株を發見する事がよくあるが、これには二種類ある。一つは自然雜交によつて發生したもので、もう一つは種子混雜によるものである。自然雜交は、例へば蓬萊種と在來種の樣に違つた種類の稻を同一地帶に栽培した時に發生し易く、その結果は不稔粒の多い稻株が澤山できて收穫に影響するだけでなく品質が低下する。

自然雜交の程度は品種や氣候によつて異るが、高溫乾燥地帶には概して多い樣である。種子の混雜による場合は、不稔粒が少いので收穫にはさほど影響しないが、品質が低下するから、採種に不適となる。この樣な自然雜交や混種を防ぎ、純粹な種籾を得る爲には、出來るだけ採種田と同じ品種を栽培した地帶の眞中に採種田を設けるか、又は採種田の近くには開花期の違つた品種を植えて自然雜交が出來ない樣にする事である。もし近くに異品種の稻を植えてゐる時には、少くとも五メートル以上離れた所から採種しなければならない。

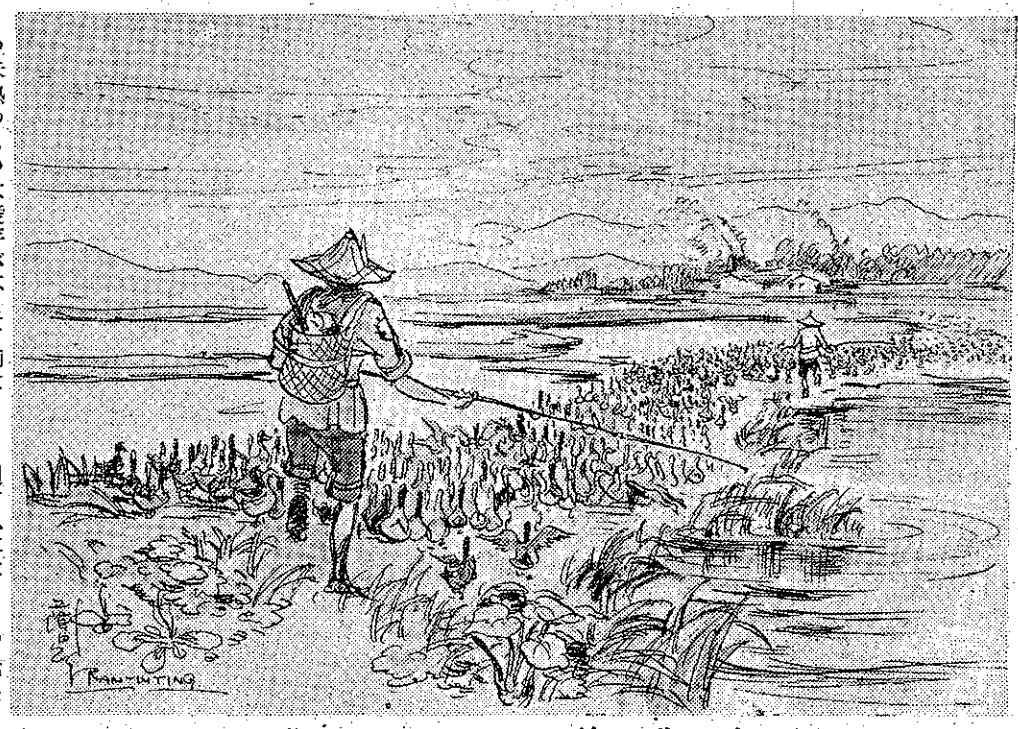
二、收穫の時期

稻が全體に黃色に變じ、穗元に二—三粒の青籾がつけば完熟した事になるが、採種用としてはこれより三—四日前、卽ち黃熟期に採種するべきである。黃熟期以前の未熟のものは發芽が不良で揃はず、また熟し過ぎたものは胴割れする事が多いから兩方とも良くない。

三、乾燥の際の注意

1採種田の收穫開始前に必ず、脫穀機、米籠、竹ザル、麻袋等の道具をよく檢査して、異品種の籾が一粒も殘つてゐない樣に注意する。2乾燥場は乾燥前きれいに掃除して異品種の籾が殘らない樣にする。3乾燥場に於ては同じ品種を乾燥させるのが、理想であるがやむを得ず二品種以上同時にする時には必ず品種別に乾燥地域を設け、異品種が飛散して混入しない樣にする。4籾を乾燥してゐる時には、なるべく用の無い人間や家畜の出入を防ぐ。

胴割れを防止する爲には急激に乾燥する事を避けなければならない。乾燥する時、籾が大量であつたら百公斤につき約一坪半に擴げ、波形乾燥法で三〇分毎にかき廻す。コンクリートの上で乾燥する場合は、同じ面積について乾燥する籾の量を增し、波形を大きくして、普通の場合より回數多くかき廻す必要がある。光線の强すぎる時には筵乾にしなければならないが、籾が小量の場合は薄く擴げて、新聞紙かムシロでかぶせて、陽光の直射を避ければ良い。拔穗をする時は、小束にして風通しの良い、直射光線の當らない軒下に吊しておく。籾の乾燥度は少くとも含水率一〇%は必要で、晴天で三—四日間の乾燥を必要とする。第一期作で採收した籾を第二期作の種籾に用ふ場合には、後熟作用を促進させる爲にもぜひ充分に乾燥しなければならない。



田庄謠歌（第七回）……藍蔭鼎

庄田落陣鴨揮指——長二丈高竹枝一
鑼銅那音聲鴨趕——歌山唱母鴨公鴨

◈秋の野菜栽培◈

秋になつた。この季節は野菜の栽培にはもつて來いの時季だから、品種の良いものを選んでどしどし植えよう。では野菜の種類別にどんな優良な品種があるか、一つ案晴らしい野菜を栽培しようと思ふ人に參考までに擧げて見よう。

菠薐菜（ほうれん草）—次郎丸、日本大葉、在來、北平。萵苣（チサ）—シンプソン、エンピアル六一五、ニューヨーク。人參—金時、五寸。キャベツ—在來A、葉深四號、三池中生、サクセッション。花椰菜—アーリースノーボールA、在來中生、在來晩生、白菜—大葉土白菜、大坂白菜、朝鮮白菜。結球白菜—黑葉、赤葉、芝罘、長岡交配一號、京都三號。蕪菁—日本絹莢。大坂大玉實喰。大根—六十日矸仔、美濃早生、梅花。牛蒡（ゴボウ）—瀧野川、大和、新倉。きうり—立秋。四季豆—衣笠。トマト—プリツチヤードトツパー、サツトンスエブリデイ、アーリーデウエル。

次に土壤の適不適も野菜を栽培する上に於て重要であるから注意して選ぶ事。（一）輕土に適する野菜：人參、牛蒡、馬鈴薯、ほうれん草、白菜類、立秋きうり。（二）埴質土に適する野菜：大根、蕪菁、トマト。

栽培上の注意

一、育苗期の時は、秋と云つても殘暑が嚴しいので、苗床の上を竹簾（スダレ）などで覆つて直射光線から幼苗を保護する樣にする。金條蚤葉蟲、心喰蟲などは砒酸鉛又はD・D・Tを撒布し、蛴蟲は除蟲菊又はデリス液で退治してから、苗を移植する。

二、白菜類、キャベツ、花椰菜などはトマトを植えた後の土壤に栽培するとトマトの根に着いていたネマトーダが傳染して被害を及ぼすから注意しなければならない。基肥としては充分に腐熟した堆肥を使つて、根の發育を良くする。追肥としては腐熟せる人豚の糞尿を薄めて、これを作物の傍に淺く堀つた溝に流し込んで、土を覆せる。肥料が缺乏すると球や花蕾が成長しないから、斷えず注意する必要がある。硫安は作物の發育を良くして、長途の運送にも耐へる樣な持久力を養成するが、施用する時に分量が多すぎると作物のセンネが硬くなつて味を惡くする。

三、ほうれん草、ちさ等は酸性に弱い作物であるから、一分の土地に對して約二〇〇臺斤の石灰を撒く必要がある。チサは生で食用にする關係上、清淨栽培をする必要がある。基肥としては、腐熟した堆肥、豆餅液（水に漬けて軟かくなつたもの）、木灰、などを全園に施す。衛生の爲にも追肥として人糞尿を使ふ事は避けた方が良い。然し、腐熟した尿を薄めて使へば作物の發育にも良く、味も良くなるので、三、四日毎に灌水と同時に施すと良い。硫安をほうれん草に施すと、後になつて長途の運送に耐へるが、チサに使ふと發育を惡くし、味を落すのでその代りに豆餅液を施すべきである。

四、にんじん、大根、牛蒡などは有機質分の多い土地で栽培すると、外形を惡くし、澤山細い根が長く發生して優良品が出來ないので、堆肥は施さない方が良い。これ等の野菜に適當した肥料は、豆餅、木灰、過燐酸石灰、人糞尿、硫安等で、人糞尿はにんじんの色を良くするが、豆餅は反つて色を惡くする。また施肥の時に注意すべき事は、一番最後の施肥の時期を餘り遲すぎ無い樣に心がける事である。にんじん、ごぼう等は種をまく時に、土の表面を少し壓縮すれば發芽が整つて成長が良くなる。

五、トマト　はむしろ有機質の豐富な所に良く育つ。表土が稍深く、排水の良い高燥な土地を選んで栽培する。施肥の方法は、先ず基肥（豆餅、木灰）の三分の二を全園に施す。次に殘りの基肥三分の一と約七百臺斤の腐熟した堆肥とを混合して醱酵させた後、これを定植の時に施す。果實の形を良くし、品質を提高する爲に、加里肥料を加へる事を忘れてはならない。摘芽は早いうちに行つて、斑點病、褐斑病、疫病等の病害の防治には王銅、ボルドーなどを散布する。